

分かりやすく

# 平成26年度決算をお知らせします。

可児市の平成26年度決算（一般会計）を年収480万円のかにさん一家の家計に見立てて、家計簿を作ってみました。

※市では給与収入300万円～500万円の納税義務者の割合が最も高くなっています。

※決算は議会の認定を経て確定します。

## かにさん一家の紹介

別居



おじいちゃん

息子の家族を陰ながら応援しています。



お父さん

家族の大黒柱として奮闘中のサラリーマン。



お母さん

パート勤めのお母さん。家計を厳しくチェックします。



娘

習い事に忙しい中学生。

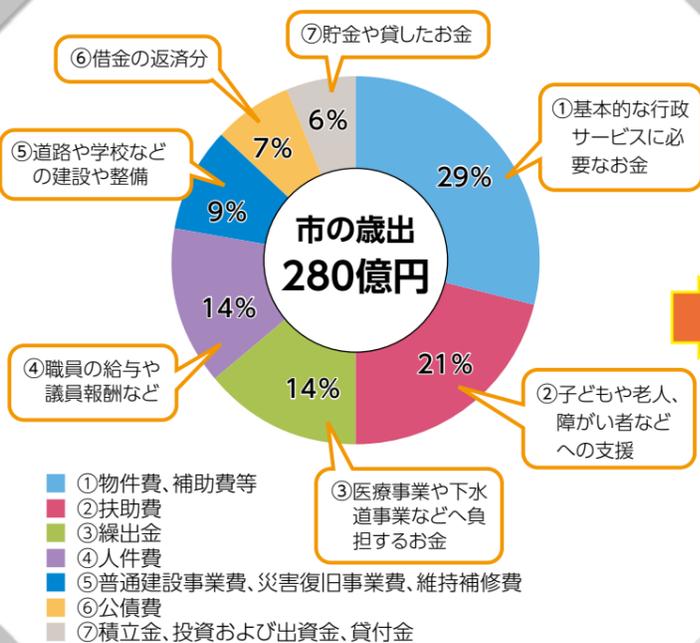
別居



息子

仕送りで生活する学生。自立に向けて頑張っています。

### どんな支出があったんだろう？



#### 支出のポイント

KYBスタジアムの建設費が大きく減少し、公共施設整備の割合(9%)が25年度(13%)より低くなりました。一方で、扶助費(子どもや高齢者、障がい者などへの支援)は年々増加傾向にあり、26年度の割合(21%)も25年度(19%)より高くなっています。  
また、災害からの復旧など、急な支出に備えた積立金(貯金)の割合(6%)が25年度(5%)よりも増えています。

### かにさん一家の家計簿 (1ヵ月当たり)

#### 支出

①物件費など	光熱水費	11.3万円
②扶助費	医療費・養育費	8.0万円
③繰出金	息子への仕送り	5.4万円
④人件費	食費	5.2万円
⑤普通建設事業費など	家の補修	3.3万円
⑥公債費	ローン返済	2.8万円
⑦積立金など	預貯金	2.2万円
合計		38.2万円

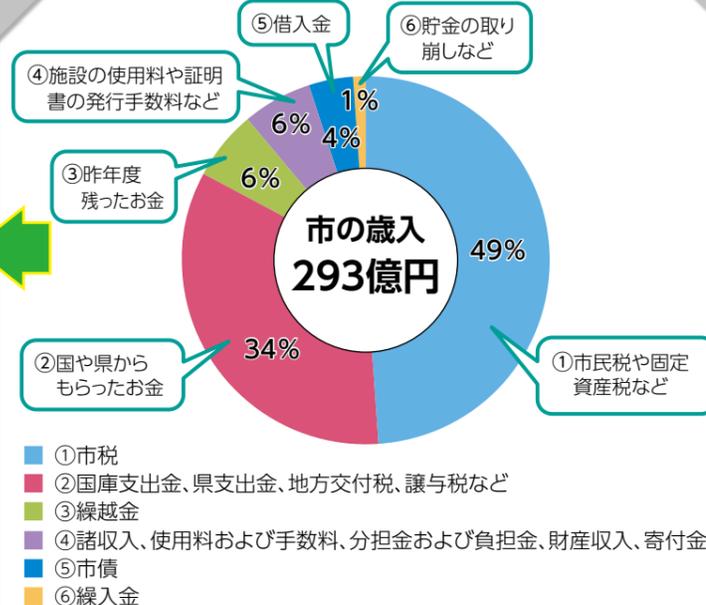
ローン残高 271万円

預貯金残高 181万円

#### 収入

給料	19.7万円	①市税
祖父からの支援	13.2万円	②国庫支出金など
先月残ったお金	2.5万円	③繰越金
パート収入	2.4万円	④使用料など
銀行からの借入	1.7万円	⑤市債
預貯金の取り崩し	0.5万円	⑥繰入金
合計	40万円	

### どんな収入があったんだろう？



#### 収入のポイント

市税や国、県からもらうお金が収入の大半を占めています。市民の皆さんの税金で市の仕事を支えられています。  
26年度は借入金の割合(4%)が25年度(6%)よりも低くなっており、将来世代の負担の軽減に努めていることがわかります。



家族の医療費や娘の養育費(扶助費)が先月(25年度)よりも増えたわ。これらの支払いはどうしても必要だから仕方ないわね。その分、家の補修(普通建設事業費など)は後回しになってしまうけど…。  
ローン残高は順調に減っているし、うまくやりくりして預貯金も増えたわ。



市の財政は大丈夫かな？  
詳しくは11月1日号で！

借金残高 ..... 165億円 (対前年度比△3.6%) (前年度171億円)  
市民一人当たりの借金残高 ..... 16万3千円 (対前年度比△3.7%) (前年度17万円)  
預貯金残高 ..... 111億円 (対前年度比+13.6%) (前年度97億円)  
市民一人当たりの預貯金残高 ..... 10万9千円 (対前年度比+13.4%) (前年度9万7千円)

※出納整理期間中の積立額および取り崩し額を含んでいます。  
※平成27年1月1日現在の人口100,944人で計算しています。  
※対前年度比は、四捨五入前の数値で計算しています。



お父さんの給料(市民税、固定資産税などの市税)は、先月(25年度)より増えて、その分、借入れ(市債)を少なくできたわ。これからも、おじいちゃんに助けをもらいながら(国庫支出金など)、パート収入(使用料や手数料)などを増やす努力をして、やりくりしていかなくちゃね。

# 平成26年度 特別会計の決算

「特別会計」とは、特定の事業を行うために設置している会計です。その事業収入は使い道が決まっており、一般会計とは区別して経理しています。

会計名	収入額		前年度対比	主な内容
	収入額	支出額		
国民健康保険事業 (事業勘定)	112億3,763万円		1.8%	前期高齢者交付金(32億6,814万円) 国民健康保険税(28億253万円) 国庫支出金(19億9,538万円)
	106億1,977万円		2.7%	医療費の公費分を医療機関へ支払いました。(63億5,281万円)
国民健康保険事業 (直診勘定)	1,883万円		3.0%	繰入金(900万円) 診療収入(736万円)
	1,551万円		△2.2%	久々利診療所の運営・管理のため、賃金の支払いや医薬品の購入などに充てました。(1,551万円)
後期高齢者医療	9億1,980万円		7.2%	後期高齢者医療保険料(7億2,373万円) 繰入金(1億6,357万円)
	8億9,489万円		7.3%	75歳以上の方の医療費の公費分を医療機関へ支払いました。(8億3,779万円)
介護保険 (保険事業勘定)	57億1,404万円		4.5%	支払基金交付金(15億4,905万円) 介護保険料(14億8,418万円) 国庫支出金(10億1,748万円)
	56億1,357万円		4.4%	介護サービスの公費分を介護事業者へ支払いました。(52億63万円)
介護保険 (サービス事業勘定)	2,929万円		5.4%	予防給付費収入(2,629万円)
	2,634万円		6.3%	介護予防プランの作成に関する費用を支払いました。(2,634万円)
自家用工業用水道事業	1億8,589万円		4.3%	水道使用料(1億5,769万円)
	1億5,013万円		0.1%	一般会計への繰出しのほか消費税や愛知用水施設の管理負担金などを支払いました。(1億5,013万円)
公共下水道事業	31億3,194万円		4.0%	繰入金(13億9,720万円) 下水道使用料(13億3,618万円) 市債(2億2,380万円)
	30億1,475万円		3.2%	借入金の返済に充てました。(19億7,807万円) 木曽川右岸流域下水道の維持管理負担金などを支払いました。(6億9,947万円)
特定環境保全公共下水道事業	2億9,650万円		4.2%	繰入金(1億5,851万円) 下水道使用料(8,608万円)
	2億4,221万円		2.1%	借入金の返済に充てました。(1億6,848万円) 木曽川右岸流域下水道の維持管理負担金などを支払いました。(7,198万円)
農業集落排水事業	1億7,579万円		△1.4%	繰入金(1億2,924万円) 下水道使用料(3,717万円)
	1億7,002万円		△0.4%	借入金の返済に充てました。(8,938万円) 浄化センターの維持管理などの費用に充てました。(7,806万円)
可児駅東土地区画整理事業	3,464万円		△77.7%	繰越金(3,364万円) 繰入金(1,000万円)
	923万円		△92.4%	可児駅東地区画整理事業に関する設計や工事を行いました。(923万円)
5財産区(合計)	2,949万円		1.3%	繰越金(1,299万円) 繰入金(1,000万円)
	1,289万円		△20.0%	財産区の運営・管理に充てました。(1,289万円)
合計	217億7,384万円		2.5%	
	207億6,931万円		2.8%	

会計名	収入額(税込)		前年度対比	主な内容
	収入額	支出額		
水道事業会計	収益的収入	26億4,955万円	16.9%	水道料金(20億5,882万円)長期前受金戻入(4億788万円)
	収益的支出	22億2,804万円	0.2%	受水費(11億4,592万円)減価償却費(6億7,090万円)
	資本的収入	1,957万円	21.2%	工事負担金や他会計からの負担金(808万円)国庫補助金(1,149万円)
	資本的支出	4億4,025万円	△38.2%	水道施設の更新などの工事費(2億3,913万円) 借入金の返済(8,885万円)
資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額4億2,067万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額2,216万円並びに過年度分損益勘定留保資金3億9,851万円を補てんしました。				

問合せ先 財政課

# 平成26年度 一般会計の決算

△は前年度対比減を意味します。

## 収入

科目	26年度決算額	25年度決算額	前年度対比
市税	143億8,428万円	137億9,511万円	4.3%
繰越金	18億2,330万円	18億4,961万円	△1.4%
諸収入	9億271万円	8億5,504万円	5.6%
繰入金	3億9,751万円	1億9,667万円	102.1%
使用料および手数料	3億5,787万円	3億5,653万円	0.4%
分担金および負担金	3億1,864万円	3億2,255万円	△1.2%
財産収入	1億5,160万円	2億3,094万円	△34.4%
寄付金	1,679万円	3,494万円	△51.9%
<b>A</b>	<b>183億5,270万円</b>	<b>176億4,139万円</b>	<b>4.0%</b>
国庫支出金	32億7,020万円	38億1,017万円	△14.2%
地方交付税	28億2,145万円	29億1,299万円	△3.1%
県支出金	17億1,674万円	17億6,926万円	△3.0%
市債	12億7,360万円	18億6,580万円	△31.7%
地方消費税交付金	10億5,222万円	8億6,087万円	22.2%
地方譲与税	2億8,231万円	2億9,494万円	△4.3%
ゴルフ場利用税交付金	2億633万円	2億1,130万円	△2.4%
配当割交付金	9,731万円	5,666万円	71.8%
地方特例交付金	6,593万円	6,759万円	△2.5%
株式等譲渡所得割交付金	4,715万円	9,042万円	△47.9%
自動車取得税交付金	3,322万円	9,344万円	△64.5%
利子割交付金	3,214万円	4,176万円	△23.0%
交通安全対策特別交付金	1,356万円	1,566万円	△13.4%
<b>B</b>	<b>109億1,216万円</b>	<b>120億9,086万円</b>	<b>△9.7%</b>
<b>合計(A+B)</b>	<b>292億6,486万円</b>	<b>297億3,225万円</b>	<b>△1.6%</b>

※自主財源とは、市が自主的に収入できる財源です。  
 ※依存財源とは、国や県から配分される財源と借金です。  
 ※対前年度比は、四捨五入前の数値で計算しています。

総収入額は、前年度と比較して1.6%減の292億6,486万円となりました。  
 市税については、法人市民税の増額などにより前年度比5億8,917万円の増となり、繰入金なども増額したため、自主財源が前年度比7億1,131万円の増となりました。  
 依存財源については、消費税率の引き上げ(5%→8%)に伴い、地方消費税交付金が増加したものの、市債の前年度比5億9,220万円の減、国庫支出金の前年度比5億3,997万円の減などにより、全体としては前年度比11億7,870万円の減となりました。

## 支出

科目	26年度決算額	25年度決算額	前年度対比
民生費	95億4,335万円	89億5,763万円	6.5%
総務費	41億9,481万円	36億5,350万円	14.8%
教育費	40億7,659万円	34億9,056万円	16.8%
土木費	32億8,061万円	48億2,812万円	△32.1%
衛生費	25億1,488万円	25億7,900万円	△2.5%
公債費	20億6,674万円	21億3,145万円	△3.0%
消防費	10億32万円	11億7,602万円	△14.9%
農林水産業費	5億1,712万円	5億479万円	2.4%
商工費	4億9,135万円	3億643万円	60.3%
議会費	2億6,474万円	2億6,188万円	1.1%
労働費	1,715万円	1,957万円	△12.4%
災害復旧費	16万円	0円	—
<b>合計</b>	<b>279億6,782万円</b>	<b>279億895万円</b>	<b>0.2%</b>

総支出額は、前年度と比較して0.2%増の279億6,782万円となりました。

民生費は、前年度比5億8,572万円の増となりました。これは臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金給付事業や高齢者施設への補助金が増えたことなどが要因です。また、総務費についてはKマネーに関する事業費の増などにより前年度比5億4,131万円の増、教育費については中学校へのエアコン設置工事の増などにより前年度比5億8,603万円の増となりました。

一方、土木費は前年度比15億4,751万円の減となりました。これはKYBスタジアムの建設費が大きく減額したことなどが要因です。